据付工事後の確認

○据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません）。

チェック内容	チェック欄
器具本体が確実に取付いていますか。	
電源線、アース線を口出し線に確実に接続していますか。	
口出し線接続部及びシース（外被）部に防水絶縁処理をしていますか。	
灯具（外郭カバー）にキズ等ありませんか。	

試運転

○お客様立ち会いで試運転を行ってください。
スイッチの ON,OFF、調光のかけ方などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、お客様に説明してください。

お客様への説明

○この取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るように説明してください。

○この取扱説明書は、引っ越しなどで製品を移動する際に必要となりますので据付け後お客様にお渡しください。

○物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー・ゼネコン）や管理人などに説明してください。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体に適用されます。
・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

■無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記の連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル 0120-348-027（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

E771Z284G06　E771Z284H30

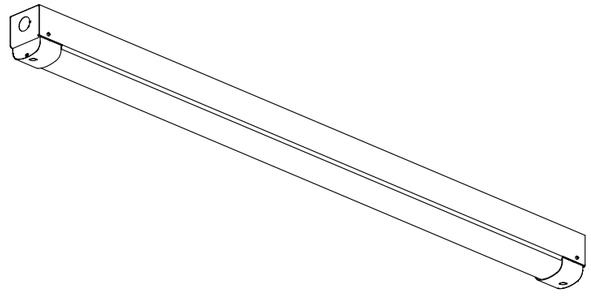
MITSUBISHI ELECTRIC

販売店・工事店様用

三菱 LED 照明器具

形名

EL-LR-Y10001N/4 2AHTN
EL-LR-Y7001N/4 AHTN
EL-LR-Y5001N/4 AHTN
EL-LR-Y4001N/4 AHTN



LED 一体形ベースライト 40 形 直付形 オイルミスト対応器具

本器具は壁スイッチ動作等により、点灯モードが定格モードと節電モード（約70%）に切替が可能です。
※但し人感センサ付器具との組合せの場合を除く。

据付工事説明書
取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

・お客様ご自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。
・この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、据付工事の前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
・電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

販売店・工事店さまへ
この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
お客さまへ
説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

もくじ

安全のために必ず守ること …… 2・3
お願い …… 4
お知らせ …… 4
使用部品 …… 4
各部のなまえ …… 5
据付場所の確認 …… 5
標準据付工事の方法 …… 6・7
据付工事後の確認 …… 8
試運転 …… 8
お客様への説明 …… 8
保証とアフターサービス …… 8

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。
絶対に分解・改造しないでください。	

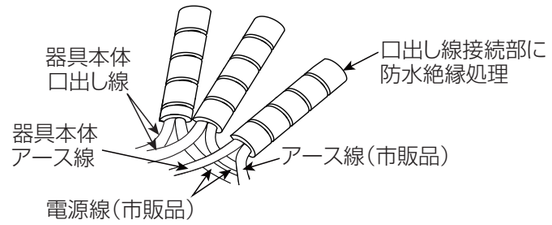
⚠警告

禁止	**高温〔35℃を超える〕、高湿〔85%RH を超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、サビの出やすい場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所、振動・衝撃のある場所、浴室やプール、常時風の当たる場所、風速 60m/s を超える強風の吹くおそれのある場所で使用しない**（落下・感電・火災の原因）
	引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕**で使用しない**（火災の原因）
	狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない（器具が過熱して火災の原因）
禁止	**傾斜天井や、補強のない天井には取付けない**（指定方向以外の取付けは火災・落下の原因）
	器具取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により火災・感電の原因）
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない（絶縁破壊により火災・感電の原因）
厳守	**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う**（施工不備により、落下・火災・感電の原因）
	レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける（落下の原因）

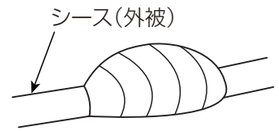
⚠注意

禁止	**天井直付・レースウェイ取付兼用器具です**（指定方向以外の取付けは、火災・落下の原因）
	器具のノックアウトを外す場合は工具により電線を傷つけない（絶縁不良により火災・感電の原因）
	器具を密集して取付けない〔200mm 以上離す〕（器具の温度が高くなり火災の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）
	屋外、水や湿気のある場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない（火災・感電の原因）
	雨水のかかる場所で使用しない（水気・湿気が入り感電の原因）
	表示された電源電圧以外では使用しない。特に定格電圧の 90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります（火災・感電の原因）
	耐熱 PE 電線〔エコ電線〕は油の付着により被覆が溶融する可能性があるため使用しない（落下・火災・感電の原因）
禁止	**以下の環境下では使用しない**（破損・落下・火災・感電の原因）**○ミスト濃度3mg/m³を超える環境 ○樹脂を溶解させる有機溶剤・クリーナー・洗浄剤・薬品等を使用される環境 ○切削油の滞留における滴下や、有機溶剤・切削油・洗浄剤等の濃縮、混合による溶質変化がある環境 ○有機溶剤・切削油・洗浄剤等が飛沫するような環境**
	●JIS K 2241に指定された切削油でミスト濃度3mg/m³以下の油煙環境にて使用可能です。 ●ミスト濃度3mg/m³以下であっても、環境により本製品の使用ができない場合は、器具本体が金属製であり、かつカバーにガラスを使用している弊社 高天井用ベースライトGTシリーズ 耐油煙適応モデルをご検討ください。 ●基油に鉱物油を使用していない切削油剤(シンセティック油、エステル系合成油等)、もしくは成分にアルコール類、エステル類が含まれている切削油剤の環境では別途確認が必要な場合がございますので、工事店または8ページの連絡先にご相談ください。
厳守	**カバーにクラック・ひび割れが発生した場合は使用を中止する**（落下・火災・感電の原因）

(4) 接続部は金属ボックス内で行う。

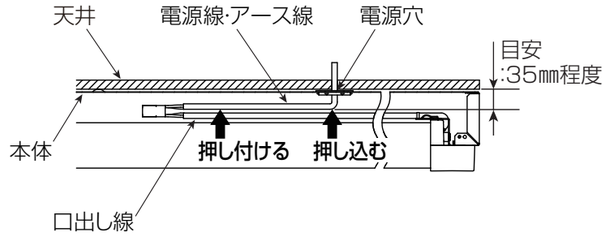


・自己融着絶縁テープ等で口出し線接続部を防水絶縁処理した後に、防水絶縁処理した先端を上（天井側）に向ける。



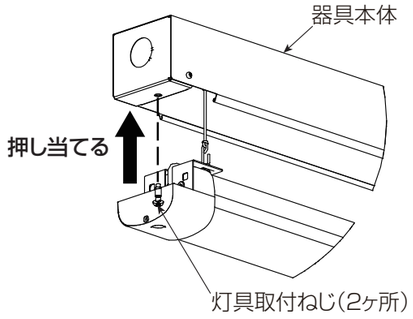
・自己融着絶縁テープなどで各接続部を防水絶縁処理した後に、シース（外被）部から絶縁処理を行う。

(5) 器具内で接続する場合は、接続後、余分な電源線・アース線を電源ユニットの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、本体側にも押し付ける。



4 灯具を取付ける

(1) 灯具を手で器具本体に押し当て、灯具取付ねじで確実に締め付ける。
（推奨締付トルク：3 N·m）



⚠警告

電源線・口出し線を挟み込まない
（火災・感電の原因）

⚠注意

・**器具本体と灯具の間に吊ひもを挟まない**（落下の原因）
・**器具本体に灯具が確実に取付けられていることを確認する**（落下の原因）

お願い

・灯具取付け時は、器具本体との隙間が左右均等になるように取付けてください。
・締付トルク値を守ってください。
（ねじ取付部が破損する原因）

形名	定格	定格電圧	入力電流（A）			消費電力（W）			段調光(70%) 消費電力(W)		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-LR-Y10001N/4	2AHTN	AC200−242V	—	0.296	0.248	—	57.6	57.7	—	40.0	40.2
EL-LR-Y7001N/4	AHTN	AC100−242V	0.452	0.222	0.186	44.1	43.0	43.0	29.8	29.3	29.3
EL-LR-Y5001N/4			0.339	0.168	0.140	33.2	32.5	32.5	22.7	22.4	22.4
EL-LR-Y4001N/4			0.258	0.129	0.108	25.1	24.9	24.9	17.3	17.2	17.2

標準据付工事の方法

1 器具本体を取付ける

(1) 器具本体を取付ボルトに、平座金・六角ナットを用い、
ダブルナットにて確実に固定する。
上ナットを取付ける際は、下ナットをスパナで固定する。

下ナット（器具本体側）の締付トルクは0.4～0.6N·m、
上ナットの締付トルクは0.8～1.0N·mです。

⚠警告

器具本体を確実に取付ける
（取付けが不完全な場合、落下の原因）

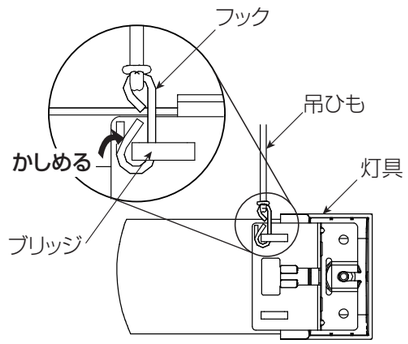
⚠注意

- **器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する**（けがの原因）
- **締付けトルクを過ぎて固定しない**
（器具変形・オイル溜まりの原因）

2 灯具を器具本体に仮止めする

（1）器具本体の吊ひも（2ヶ所）のフックを灯具のブリッジに通す。

（2）フックの先端をかしめる。



3 口出し線に電源線、アース線を接続する

- 口出し線長さ　　：器具外 0.15m 以上
- 口出し線の線種　：105℃耐熱ビニル電線
- 電源入力線の線径：より線 0.75mm²
- アース線の線径　：より線 1.25mm²

（1）電気設備の技術基準省令第7条に従い、電源線に口出し線の黒白線を、圧着端子・スリーブを用いて確実に接続する。

（2）アース線（緑色）を使用して、D種（第3種）接地工事を確実に行う。

（3）口出し線接続部は自己融着絶縁テープ等で防水絶縁処理を確実に施す。
絶縁被覆処理は導体部だけでなくシース（外被）部にも施す。

⚠警告

- **接続を確実に行う**
（不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因）
- **アース工事は電気設備の技術基準に従い行う**
（アース工事が不完全な場合、火災・感電の原因）
- **接続部の防水処理を確実に行う**
（不完全な場合、絶縁不良による漏電・感電の原因）

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ず守ること

⚠警告

禁止

- **器具を布や紙などで覆わない**
（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
- **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない**
（火災・感電の原因）
- **器具の改造や指定部品以外の交換はしない**
（火災・感電・落下の原因）
- **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です**（火災・感電の原因）

⚠注意

禁止

- **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない**（過熱して火災の原因）
- **光を直視しない**
（長時間直視すると目を痛める原因）

厳守

- **器具は指定の制御装置と組み合わせて使用する**
（過熱して火災の原因）
- **明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う**

器具の取扱い

○器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
○赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。
（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）
○放送設備などの音声信号や映像信号は、微弱なため電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。
○受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。

- **照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**
LED光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- **周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。**
- **3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。**
- **点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。**

お手入れ

<器具>
器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。
<カバー>
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。
強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

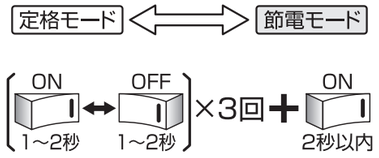
⚠警告 **電源スイッチを切ってから行う**
（感電の原因）

⚠注意 **点灯中および消灯直後の器具には触らない**
（高温のためやけどの原因）

点灯モードの切り替え

<定格・節電モードの切替>

- 壁スイッチ操作により、点灯モード（定格モード・節電モード）の切替が可能です。
- 出荷時は定格モードに設定されています。
- 消灯しても消灯前の点灯モードで記憶しています。



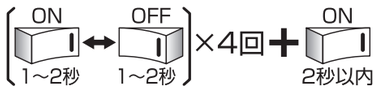
■定格モード切替
：約5秒の間に明るさが1回変化します。

■節電モード切替（約85%）
：約5秒の間に明るさが2回変化します。

<リセット操作>

- 器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により定格モードリセットを実施してください。

※いずれの点灯モードからも定格モードへリセットされます。



■明るさが1回変化すればリセット完了となります。

お 願 い

○周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
5℃以下の低温域での使用は、結露などにより絶縁不良・火災・感電の原因になります。

○温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生する場所では使用しないでください。また、一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学特性に不具合が発生する原因となります。

○天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。隙間の原因となります。

○殺菌灯を併用する場合には、殺菌線が器具に当たらないように設置してください。劣化の原因となります。

○LED光源の交換はできません。
交換の際は器具ごと交換ください。

○防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。

○電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。

○器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合わせるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。

お知らせ

○商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

○バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。

○点灯または消灯後にピシッピシと音がする場合があります。材料または部品の伸縮により起こる摩擦音で、器具の異常ではありません。

○カバーと器具本体との間に隙間を設けております。
この隙間については製品仕様上、必要なものであり品質には問題ありません。

○硫黄成分が含まれている切削油剤を使用する環境では、光束低下が早まることがあります。

○本器具は使用環境によって劣化が早まる場合がありますので、工事店等の専門家による定期的な点検、早めの交換をおすすめします。

○電源事情の悪い場所では、LED がちらつく場合があります。

○壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。

○LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。

○電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

○製品及び包装箱を片持ちしないでください。
変形により不具合が発生する原因となります。

○誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。
100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

使用部品

○市販品（別途据付工事者様にて手配ください）

天井直付の場合

- 取付ボルト　（2本）M10またはW3/8
- 電源線　（1本）φ1.6 mm VVF 単線 または φ2.0 mm VVF 単線
- 六角ナット　（4個）
- 平座金　（2個）
- スパナ

レースウェイ取付の場合

- 器具取付金具（2個）M6
- 電源線　（1本）φ1.6 mm VVF 単線 または φ2.0 mm VVF 単線

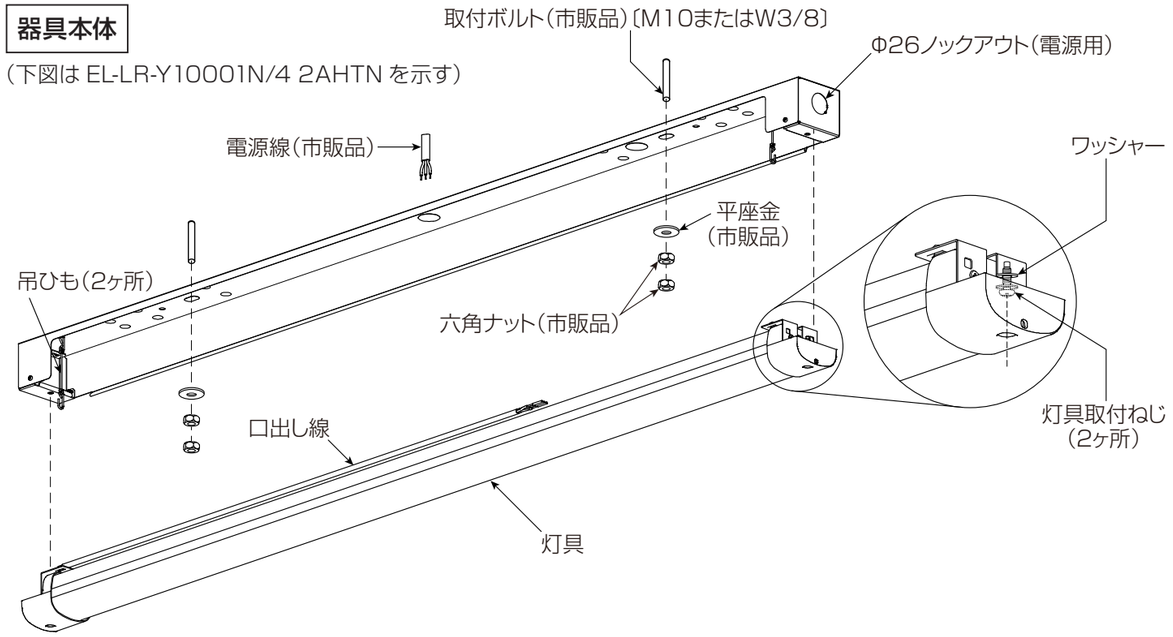
○付属品

- ブッシュ（φ 26 穴用）：2 個

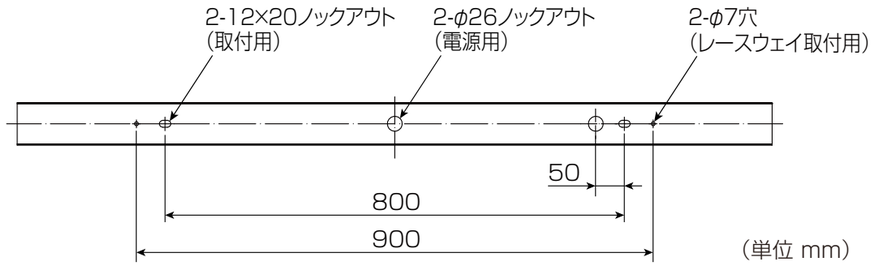
各部のなまえ

器具本体

（下図は EL-LR-Y10001N/4 2AHTN を示す）



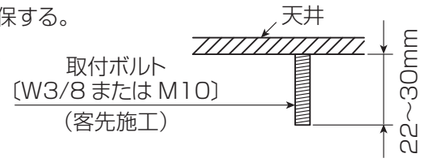
取付穴



据付場所の確認

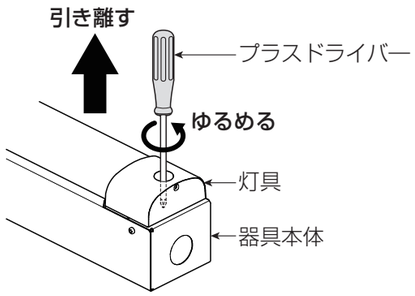
(1) 器具本体質量（約2.2kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

- 天井直付の場合の取付ボルトは、M10またはW3/8を使用する。
- レースウェイ取付の場合は、器具取付金具M6を使用する。



(2) 取付ボルトの長さは、天井面より22～30㎜にする。

(3) 灯具を器具本体から引き離しながらプラスドライバーで灯具取付ねじをゆるめ、器具本体から外す。



⚠警告

- **器具の取付けは質量に耐える所に取付ける**（落下の原因）
- **取付ボルトは所定の長さで施工する**（落下の原因）
- **レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける**（落下の原因）

お願い

- 灯具を器具本体方向に押さえつけながら灯具取付ねじを緩めないでください。（ワッシャーが外れて灯具取付ねじが落下する原因）
- 灯具取付ねじを増し締めしないでください。
（ねじ取付部が破損する原因）